

## はじめに

佐賀県衛生薬業センターは、健康・衛生・環境に係る県内の中核検査研究機関として試験検査・調査研究を行ってきました。また、平成22年度以降は、保健所の検査部門が当センターへ統合されたことにより、健康・衛生の分野については、県内唯一の行政検査機関として様々な業務を行っています。

平成28年度は、改正感染症法の施行に伴う病原体等検査の業務管理要領等の制定や、感染症情報センターシステムの更新など、微生物部門の体制整備に大きな動きがあった年となりました。

また、県内でも震度5強を記録した熊本地震や、県内の養鶏場で通算2例目となる高病原性鳥インフルエンザが発生するなど、災害や健康危機管理に対する体制整備の重要性が再認識された年でもありました。

このようななかで、当センターの機能維持・向上を図るために、科学技術の進歩に対応した設備・機器の整備、人材育成に努め、国・他県市の機関・大学等の教育機関との連携を深めながら検査研究業務に取り組んでいます。

このたび、日々の業務に直結したものや業務の合間を見つけて職員が研究した報告書など平成28年度の調査・研究結果及び業務実績を取りまとめた所報を作成しました。ご高覧のうえ忌憚のないご意見ご指導をいただくようお願いいたします、ご挨拶とさせていただきます。

平成30年2月

佐賀県衛生薬業センター所長 北島 淳二